

令和 7 年 4 月 18 日

市政記者クラブ様

教育委員会教職員研修・採用課

担当：伊藤 紀子

(683-6410)

令和 7 年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験について

名古屋市立の小・中・高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員採用選考試験を別紙要項のとおり実施しますのでお知らせします。

また、名古屋の魅力と教育の概要を紹介する動画を制作し、配信しています。名古屋市の教員となって活躍する姿を具体的に思い描いていただけます。また、名古屋市立工芸高等学校の生徒がデザインした教員募集のパンフレットも市内各所に配布しております。



二次元コードにスマートフォンなどをかざすと名古屋の魅力と教育の概要の動画が流れます。

記

1 目 的

令和 8 年 4 月以降 12 月末日までに採用する人を選考するために実施する。(大学 4 年生・既卒者)

令和 9 年 4 月以降 12 月末日までに採用する人を選考するために実施する。(大学 3 年生等)

※ 大学 3 年生等とは、大学、大学院、短期大学、専門学校の最終年次の 1 年前の年次をいいます。

いずれの学校にも所属していない科目等履修生は含みません。

2 本年度の変更点

- 2 次試験における集団面接は実施せず、個人面接を 2 回行う。
- 専修免許状(理科・技術・特別支援学校)を所有している人に特例を新規追加する。
- 名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務している人の特例の対象に、高等学校を追加する。この特例を活用して特別支援学校教員を志願する人は 1 次試験を免除する。
- 本市で常勤講師として勤務している人に対する特例の拡充
- 大学推薦に中学校(理科)、高等学校(理科・商業)を追加する。

3 採用予定人員

(昨 年 度)

・ 高等学校教員	約 25 名	(約 35 名)
・ 中学校教員	約 130 名 ※	(約 100 名)
・ 小学校教員	約 175 名 ※	(約 250 名)
・ 幼稚園教員	約 5 名	(約 5 名)
・ 特別支援学校教員	約 90 名	(約 60 名)
・ 養護教員	約 5 名	(約 10 名)
・ 栄養教員	若干名	(若干名)

合 計 約 430 名 (約 460 名)

(障害者特別選考約 10 名を含む)

※ 中学校・小学校の採用予定人員に、特別支援学級担当教員の採用予定人員、中学校・小学校合わせて約 75 名を含む。

4 選考試験日・会場

1 次試験・・・6 月 14 日(土)

中京大学名古屋キャンパス

2 次試験・・・7 月 19 日(土)、20 日(日)の 2 日間。

会場については、1 次試験後に通知する。

※ 採用試験の中止・延期や会場変更など緊急連絡事項があるときは、名古屋市公式ウェブサイト(「教員等採用情報」のページ)でお知らせする。

5 申込受付期間

4月18日（金）～5月2日（金）

※ インターネット申込は期間中の申込完了分有効。郵送の場合は、5月2日（金）の消印まで有効。
持参の場合は期間中の午前9時～午後5時まで受付（土・日・祝日は除く）。

名古屋市教育委員会事務局 人事部 教職員研修・採用課で扱う。

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮三丁目6番14号 TEL（052）683－6410

6 要項の閲覧・印刷について

4月18日（金）より、名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）から閲覧・印刷する。（郵送または直接受取による対応も行う）

ホームページアドレス <https://www.city.nagoya.jp/>（4月18日より掲載）

7 採用選考試験説明会

<名古屋> 4月19日（土） 午前10時より 名古屋市教育センター

<東京> 4月29日（火） 午前10時より ビジョンセンター東京駅前

<静岡> 4月29日（火） 午前10時より 静岡駅ビルパルシェ

採用選考試験について説明した動画を名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）で公開する予定（4月下旬）。

8 基礎資格

大学4年生・既卒者

- (1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。
 - (2) 各校種・教科の教諭普通免許状を所有または令和8年3月31日までに取得見込の人。なお特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を取得または令和8年3月31日までに取得見込の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を所有または令和8年3月31日までに取得見込の人。
 - (3) 50歳未満（昭和51年4月2日以降に生まれた人）。
- ※ ただし、講師特例、介護理由退職者特例、子育て理由退職者特例の要件に該当する人は60歳未満。

大学3年生等

- (1) 地方公務員法第16条各号および学校教育法第9条各号に該当しないこと。
- (2) 各校種・教科の教諭普通免許状を令和9年3月31日までに取得見込または所有の人。なお特別支援学校教員については、養護学校教諭か特別支援学校教諭の免許状を令和9年3月31日までに取得見込または取得の人で、かつ特別支援学校の小学部・中学部・高等部に相当する学校の教諭普通免許状を令和9年3月31日までに取得見込または所有の人。
- (3) 令和8年度に50歳未満（昭和52年4月2日以降に生まれた人）。

9 選考方法

(1) 1次・2次試験

1次試験・・・小論文、※総合教養、専門、

2次試験・・・口述（個人面接1、個人面接2）

中学校・高等学校の保健体育教員希望者に「保健体育」の実技

中学校・高等学校の英語教員希望者に「英語」の実技

中学校の音楽教員希望者に「音楽」の実技

中学校の技術教員希望者に「技術」の実技

中学校の美術教員希望者に「美術」の実技

中学校の家庭教員希望者に「家庭」の実技

幼稚園教員希望者に幼稚園実技（ピアノ演奏・歌唱・表現）

養護教員希望者に養護に関する実技

※印の試験は、障害者特別選考では実施しない。

(2) 障害者特別選考

約10名募集する。障害の種類や程度に応じた配慮を行う。

試験は、1次、2次ともに(1)の選考に準じた方法で行う。

2次試験の個人面接に加え、採用した場合の配慮事項等の聞き取りを、2次試験当日に別途行う。

(3) 試験の特例

次の中で、一定の条件を満たす人に試験の特例を設け、書類審査の上、特例を適用する。

- ・ スポーツ・芸術等の分野で優秀な実績を有する人
- ・ 英会話能力に優れた人（英語免許を所有（取得見込）、もしくは一定の成績をもつ小学校受験者には要件を緩和）
- ・ ICT活用能力を有する人
- ・ 専修免許状（中学校：理科・技術、高等学校：理科、特別支援学校）を有する人
- ・ 名古屋市公立学校（園）において講師経験のある人
- ・ 現在、国公立学校に本務教諭として勤務している人
- ・ なごや教職インターンシップの活動経験がある人
- ・ 名古屋市においてトワイライトスクールなど、学生ボランティアの活動経験がある人
- ・ 名古屋市において部活動外部指導者（部活動外部顧問を含む）や「名古屋市立小学校における新たな運動・文化活動」指導者、スクール・サポート・スタッフ、子ども会ボランティアサークルなどの活動経験のある人
- ・ 大学院に在学している人または進学する人
- ・ 名古屋市の本務教諭で介護・子育てを理由に退職した人
- ・ 中・小学校の特別支援学級担当の希望があり、特別支援教育に関わる免許状を有する人
- ・ 大学から推薦された人（中学校：理科・技術、高等学校：理科・商業・工業、特別支援学校）
- ・ 令和6年度実施名古屋市公立学校教員採用選考試験の2次試験受験対象となり、2次試験を欠席もしくは不合格だった人の中で、令和7年度実施名古屋市公立学校教員採用選考試験の1次試験の免除を希望する人

10 選考結果等の通知

- ・ 不合格者全員に対して、結果通知の折に選考結果の情報を提供する。
- ・ 提供する内容は、内容別評定、総合教養試験・専門試験の得点。
- ・ 1次試験の選考結果を7月中旬に通知する。
- ・ 最終の選考結果を8月下旬に通知する。

11 試験問題の情報提供について

(1) 個人面接2（模擬指導）の課題

2次試験受験対象者に、1次試験の選考結果の通知と同時に課題を発送する。

また、名古屋市公式ウェブサイト（「教員等採用情報」のページ）でも公開する予定（7月中旬）。

(2) 情報提供する試験問題と解答例

令和7年度実施名古屋市公立学校教員採用選考試験問題のうち、1次試験の「総合教養」

「小論文」「専門」の試験問題と「総合教養」「専門」の解答例および2次試験の「口述」の課題。

(3) 情報提供の方法

閲覧もしくは写しの交付により公表。ただし、郵送による交付は行わない。

(4) 情報提供の開始日および場所

6月16日（月）から、市民情報センター（市役所西庁舎1階）にて情報提供を行う。

※2次試験の個人面接2（模擬指導）の課題については、7月22日（火）から市民情報センター（市役所西庁舎1階）にて情報提供を行う。